

鎌ヶ谷市の財政をちょっと見てみよう

～令和3年度決算版～

はじめに



鎌ヶ谷市では、予算や決算をはじめとした財政に関する情報を積極的に発信しております。より多くの方に財政状況を知っていただきたいと考え、わかりやすい表現を心がけて「鎌ヶ谷市の財政をちょっと見てみよう」を作成しました。

市の仕事は、学校・福祉・ごみ処理・道路整備など、みなさんの生活に密接に関係したものばかりです。ぜひ、みなさんが、市の事業や財政状況をより身近に感じていただければと思います。

もくじ

- P 2 1 時限目 そもそも財政ってなんだろう
- P 3 2 時限目 1 年間でどれくらいのお金を取り扱っているの？
- P 4 3 時限目 どんなお金が入ってくるの？
- P 5 4 時限目 市民のみなさんからどのくらいお金を納めてもらっているの？
- P 6 5 時限目 何のため（目的別）にお金を使ったの？
- P 7 6 時限目 どんなこと（性質別）にお金を使ったの？
- P 8 7 時限目 教育にはどれくらいお金を使ったの？
- P 9 8 時限目 貯金はどれくらいあるの？
- P 10 9 時限目 借金はどれくらいあるの？
- P 11 10 時限目 家計におきかえるとどうなるの？
- P 12 11 時限目 お金の使い方はどうやって決めているの？
- P 13 12 時限目 こういうことにお金を使いました
- P 14 13 時限目 これからの予測はどんなの？
- P 15 14 時限目 財政状況は大丈夫なの？

(注) おことわり

これから出てくる「県内37市」の比較は、総務省が定めた全国一律ルールである普通会計決算に基づいた決算額としています。

「県内37市」とは、鎌ヶ谷市を含む千葉県内の全市です。



テレビや新聞で「財政が・・・」ということを知ったことがあります。でも、そもそも、「財政」ってなんですか？

国や地方公共団体（千葉県や鎌ヶ谷市など）がお金をやりくりすることを「財政」といいます。

具体的には、市民のみなさんや企業の方に納めていただいた税金、国や県から入ってくるお金、銀行からの借金、将来のために積み立てた貯金などを使って、学校、公民館、道路などの公共施設を整備したり、教育や福祉などの公共サービスを提供したりすることです。



《イメージ》

財 政

(市に入ってくるお金)

税金、寄附金



国・県からのお金



銀行などからの借金



鎌ヶ谷市

地方公共団体



(市から出ていくお金)

公共サービスの提供



(例) 福祉・教育・防災



(例) 道路整備



2 時 限 目

鎌ヶ谷市は1年間でどれくらいのお金を取り扱っているのですか？

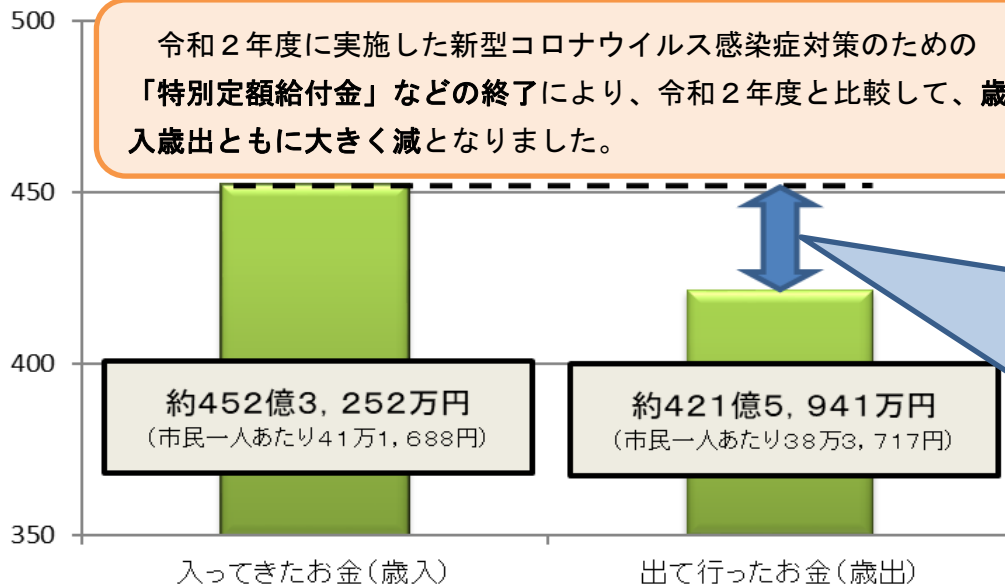


では、令和3年度にどれくらいのお金を扱ったのか、一般会計決算額をちょっと見てみましょう。

「一般会計」とは、福祉・教育・道路整備など、市の基本的な事業の収支を表す会計です。

■ 令和3年度 一般会計 決算額

(単位: 億円)



令和2年度に実施した新型コロナウイルス感染症対策のための「特別定額給付金」などの終了により、令和2年度と比較して、歳入歳出ともに大きく減となりました。

この差額(形式収支)約30億円から、翌年度に繰り越す事業の財源を除いた額(実質収支)は、約28億円で過去最高額の黒字となりました。

(令和4年1月1日の住民基本台帳人口の109,871人から算出)

～ちょっと想像してみよう～

歳出の約422億円が一体どれくらいの高さになるか、1万円札を積み重ねてみると・・・

なんと、約422メートル※になります。

※100万円が1センチメートル

(参考) 東京タワー・・・333メートル

鋸山(千葉県)・・・329メートル



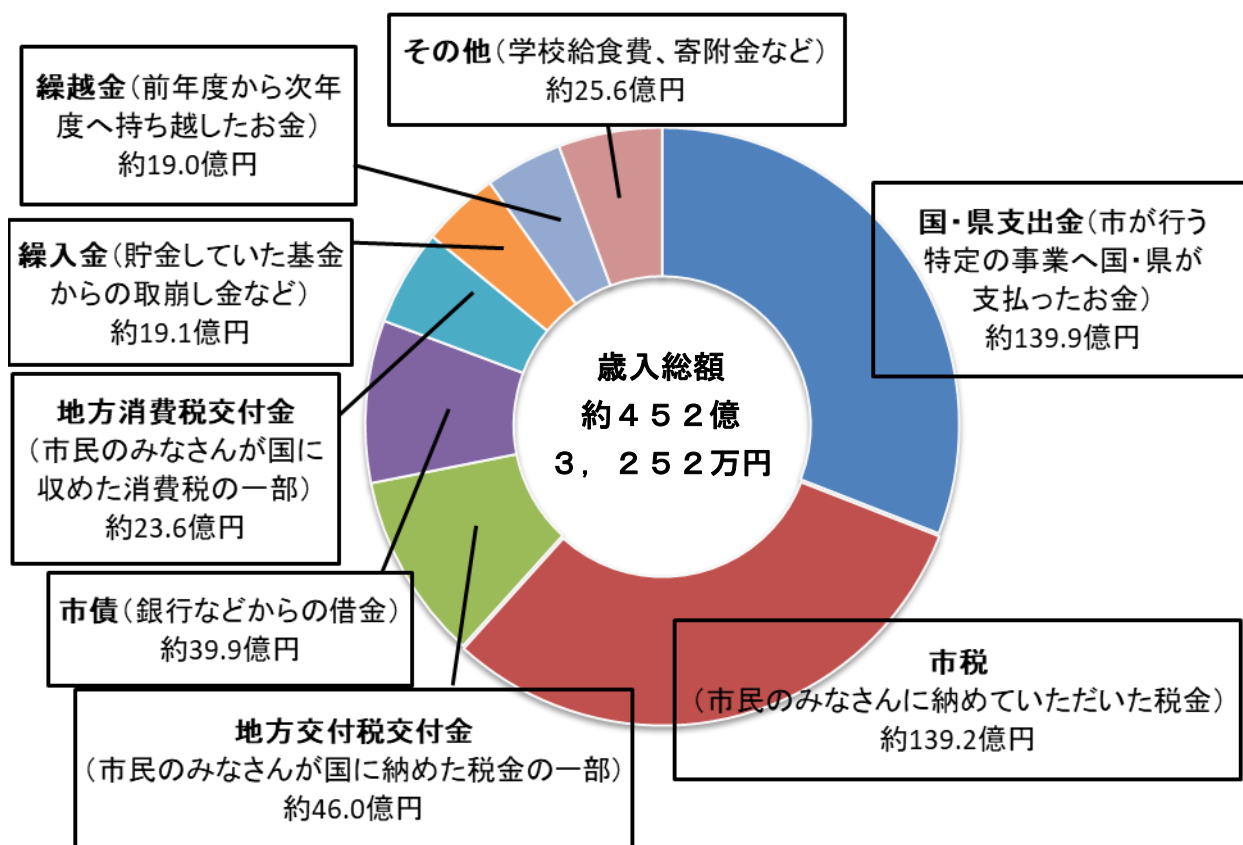


鎌ヶ谷市にはどんなお金が入ってくるのですか？

それでは、令和3年度に鎌ヶ谷市に入ってきたお金（歳入）をちょっと見てみましょう。



■ 令和3年度 一般会計 歳入 決算額



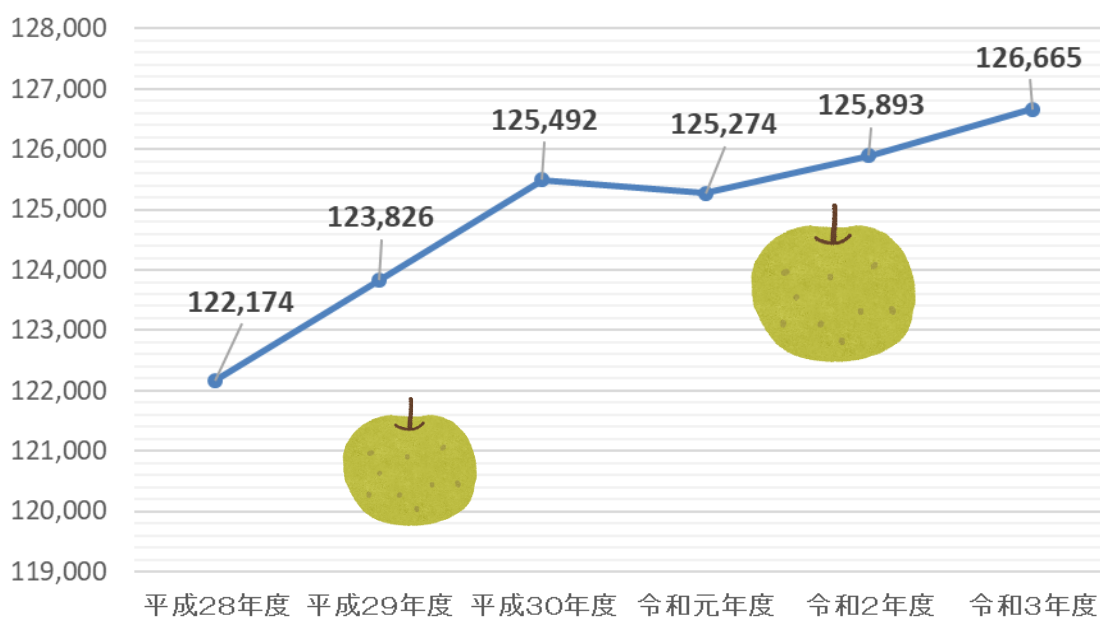
鎌ヶ谷市は、市民のみなさんに納めていただいた税金に加え、国・県からもらうお金や、銀行などから借金をして運営しています。令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策(ワクチン接種や各種給付金)の財源として「国庫支出金」が多くなっていますが、「市税」は、市にとって、とても重要な財源となっています。また、できるだけ鎌ヶ谷市内でお買い物をしていただくことや、他市にお住まいの方に鎌ヶ谷市へのふるさと納税(ご寄附)を勧めていただくことも歳入アップにつながります。

市民のみなさんからどのくらいお金を納めてもらっているのですか？



市民一人あたりの市税収入（市民のみなさんに納めてもらった税金）をちょっと見てみましょう。

■ 市民一人あたりの市税収入の推移



(令和4年1月1日の住民基本台帳人口の109,871人から算出)



令和3年度の市民一人あたりの市税収入は、約12万6,665円で県内37市中多い方から27番目です。これは、首都近郊の住宅都市として発展した本市には企業や工場が少ないため、法人市民税や固定資産税が極端に少ない財政構造となっているためです。

他市に比べて、市税が少ないということは、鎌ヶ谷市が自由に使うことができるお金が少ないということになります。

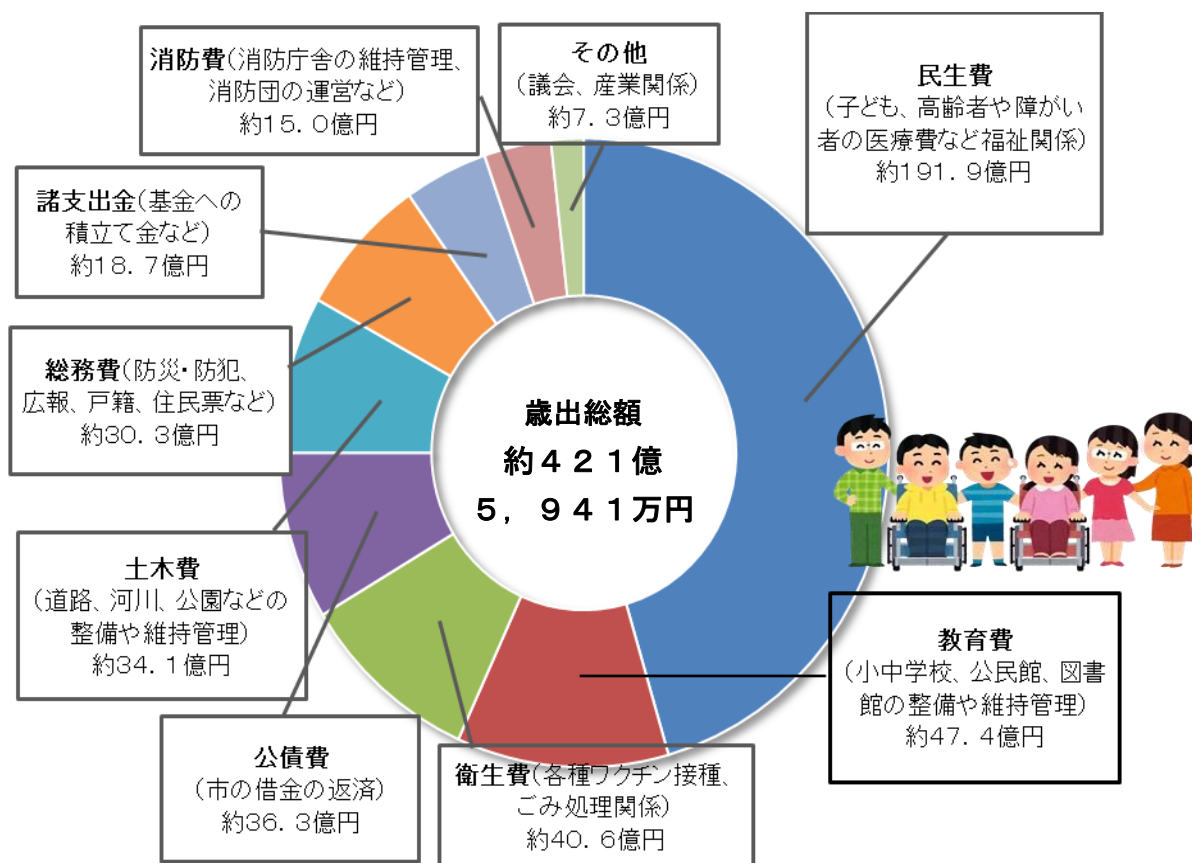


では、「何のため」（目的別といいます。）にお金を使ったのですか？

令和3年度に鎌ヶ谷市が何のためにお金（歳出）を使ったのか目的別決算額をちょっと見てみましょう。



■ 令和3年度 目的別 歳出 決算額



一番多いのは民生費で約191.9億円と全体の45.5%を占めています。新型コロナウイルス感染症対策として実施した給付金など、健康福祉（医療費や保育園・児童センターなど）の関係にとっても多くのお金をつかっていることがわかります。

そのほか、教育費（学校の整備など）、衛生費（各種ワクチン接種など）や公債費（借金の返済）に多く使われています。



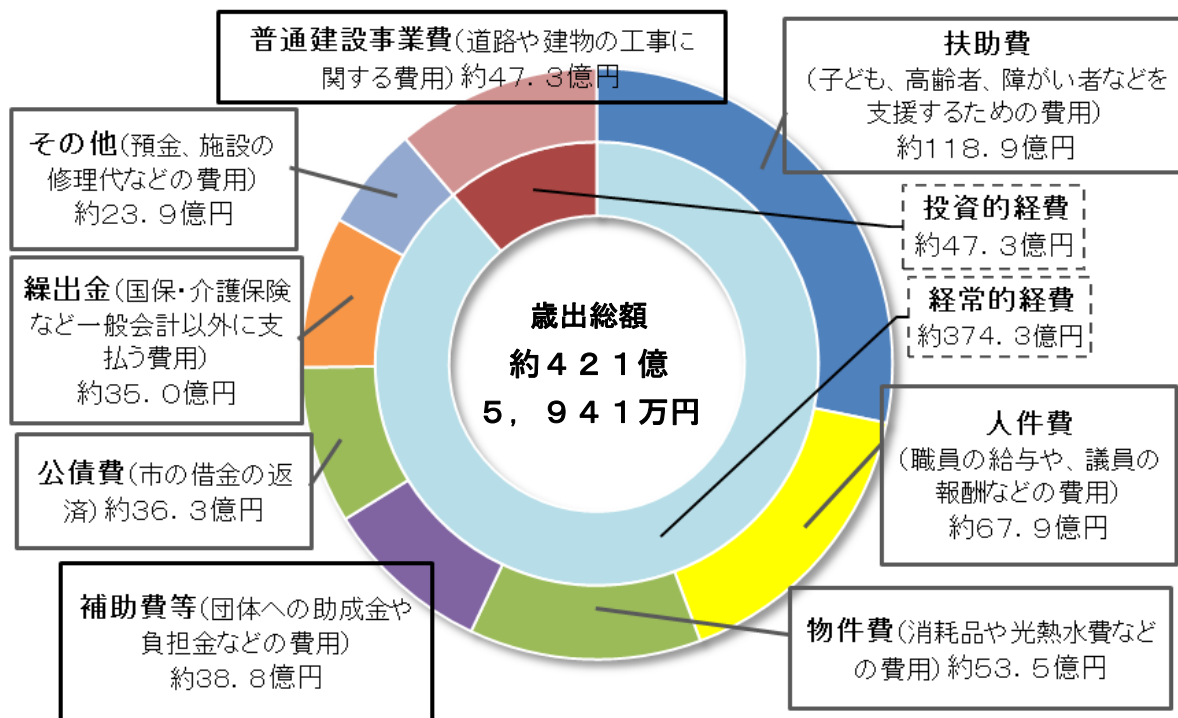
「どんなこと」(性質別といいます。)
にお金を使ったのですか？

令和3年度に鎌ヶ谷市がどんなことにお金(歳出)を使ったのか性質別決算額をちょっと見てみましょう。

ちなみに、光熱水費や借金の返済など毎年決まって支出しなければならない経費を「経常的経費」といい、道路の建設や施設の改良などに使われる経費を「投資的経費」といいます。



■ 令和3年度 性質別 歳出 決算額



経常的経費(一時的な経費も一部あり)が全体の約89%を占めています。

今後は、少子高齢化の影響による扶助費や医療・介護保険など一般会計以外に支払う繰出金が増えることが見込まれています。

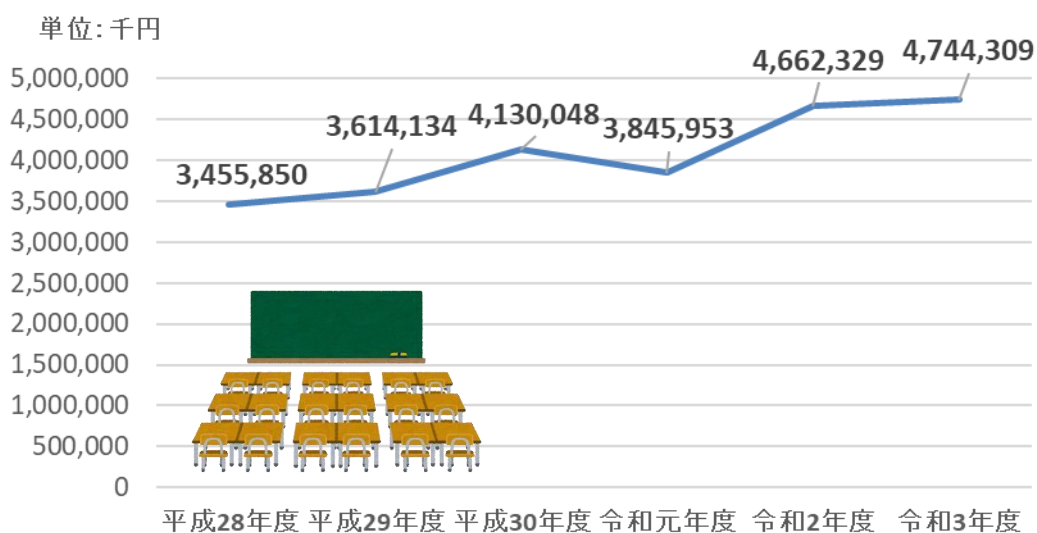


ちなみに、僕たちが通う学校などの「教育」にはどれくらいお金を使ったのですか？

それでは、近年の教育費（決算額）の推移をちょっと見てみましょう。



■ 近年の教育費（決算額）の推移



令和3年度の鎌ヶ谷市の教育費は、約47億4,431万円でした。この教育費には、小・中学校でみなさんが安心して勉強できるように実施した学校の改修工事費、コンピュータの維持費、学校の電気代や水道代なども含まれています。

令和3年度には、小中学校トイレ改修、鎌ヶ谷小学校体育館改修、防火戸・防火シャッター改修、北部小学校と道野辺小学校の受変電設備改修などを実施しました。

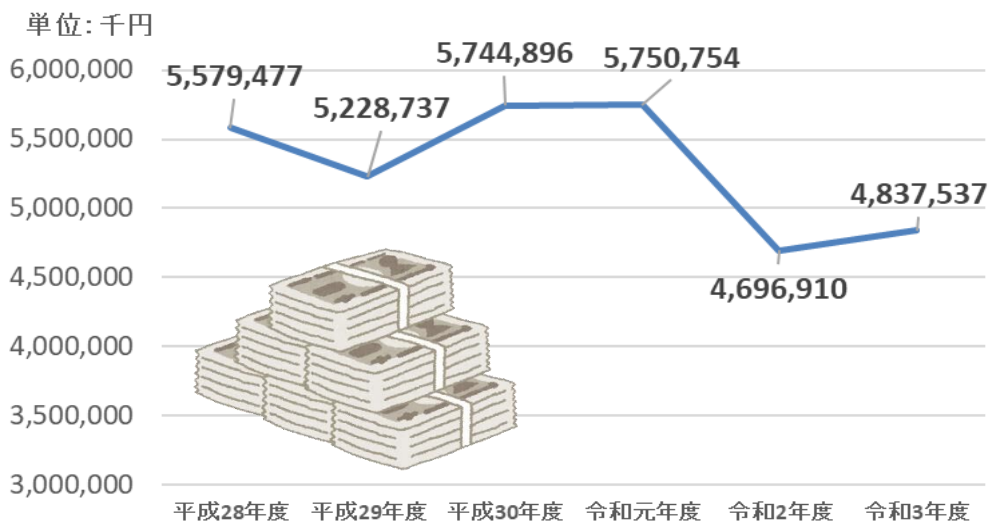
ほかにも、公民館、学習センター、スポーツ施設、郷土資料館に使ったお金なども含まれています。

いろんなことにお金を使っていることがわかりましたが、鎌ヶ谷市に貯金はどれくらいあるのですか？



鎌ヶ谷市をはじめ地方公共団体は、将来の経済的な影響や災害などに対応するため、目的に応じた貯金をしています。これを、市では「基金」と呼んで管理しています。基金（貯金）残高をちょっと見てみましょう。

■ 近年の基金（貯金）残高の推移



鎌ヶ谷市の令和3年度末の基金残高は約48億円で、市民1人あたり約4万4千円となりました。

基金残高は、鎌ヶ谷市の財政状況が一番厳しかった平成19年度末と比較すると約40億円の増加となります。

令和3年度では、新型コロナウイルス感染症対策の財源などとして貯金を使いつつも、前年度からの繰越金が増加したことなどから、令和2年度末と比較して約1億円の増加となりました。



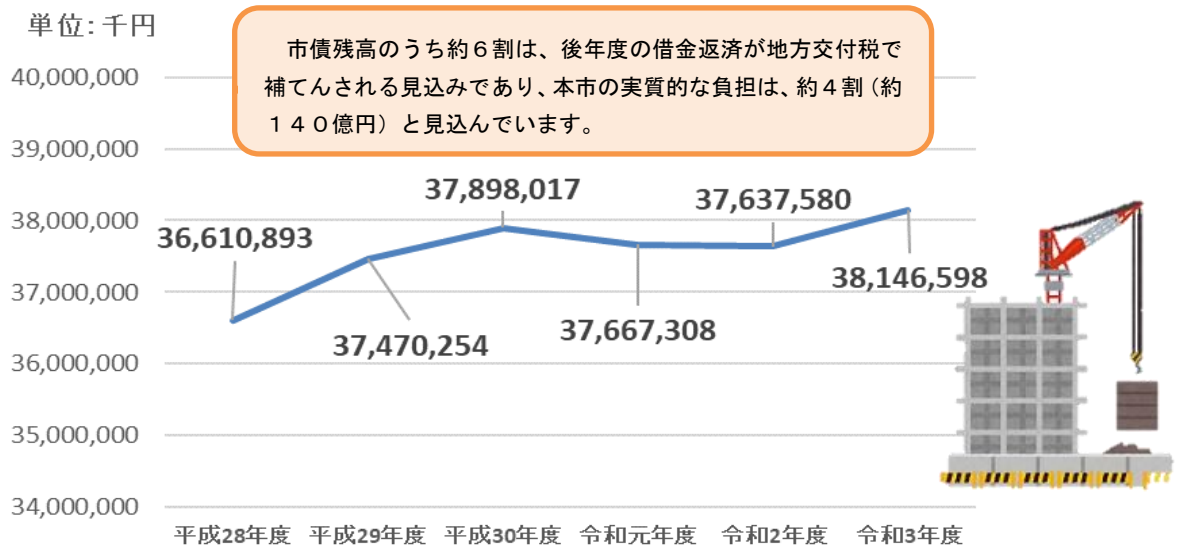


これからも借金の返済があるという話がありましたが、鎌ヶ谷市の借金はどれくらいあるのですか？

市の借金は、市債の状況で見ることでわかります。
市債とは、市が仕事に必要なお金を銀行などから借りたお金（ローン）のことです。
市債（ローン）の残高を見てみましょう。



■ 一般会計の市債（ローン）の年度末残高の推移



令和3年度末の市債残高は約381億円です。市民一人あたりの市債残高は約34万7千円、県内37市の中で借金が多い方から16番目です。

でも、「貯金があるのに何で借金するのだろうか？」という疑問をお持ちの方もいらっしゃると思います。

学校などの施設を建てると、その後は何十年と使いますので、建てたときの人たちだけでこのお金を全て負担するのは不公平です。分割して支払うことで、将来の世代の人たちにも公平に負担していただくためです。また、建物や道路の整備には多額の費用がかかるため、一度に支払ってしまうと、その年度は他のことにお金を使うことができなくなってしまいます。

それにしても鎌ヶ谷市が扱うお金はとても多いですね。
鎌ヶ谷市の財政（決算）を家計におきかえるとどうなりますか？



鎌ヶ谷市の1年間の収支を家計簿にあてはめてみました。
家計と市の会計では、お金の使い道も規模も全く違いますが、令和3年度に鎌ヶ谷市へ入ってきたお金約452億3,252万円を年収600万円の家計に例えてみました。

収
入

家計		市の会計		金額
給料		市税		185万円
駐車場収入など		使用料・手数料など		48万円
貯金の利子、取り崩し		財産収入、基金繰入金		24万円
親からの 仕送り	使い道が決まっている	国・県支出金		186万円
	自由に使える	地方交付税		61万円
借金		市債		53万円
その他の収入		地方譲与税など		43万円
合 計				600万円

支
出

家計		市の会計		金額
医療費		扶助費 ※		158万円
光熱水費など		物件費・補助費など		122万円
食費		人件費		90万円
家の増改築		普通建設事業費		63万円
子どもの習い事		他会計出資金		2万円
子どもへの仕送り		他会計繰出金		46万円
借金の返済		公債費		48万円
家の修理代など		維持補修費など		4万円
貯金		積立金		26万円
合 計				559万円

家計でいうと医療費（扶助費）が多くかかっていることがわかりますね。※令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策としての各種給付金などの影響で扶助費が大きく増加する特殊要因が生じています。





入ってくるお金のなかでやりくりしていることが分かりましたが、お金の使い方は一体どうやって決めているのですか？

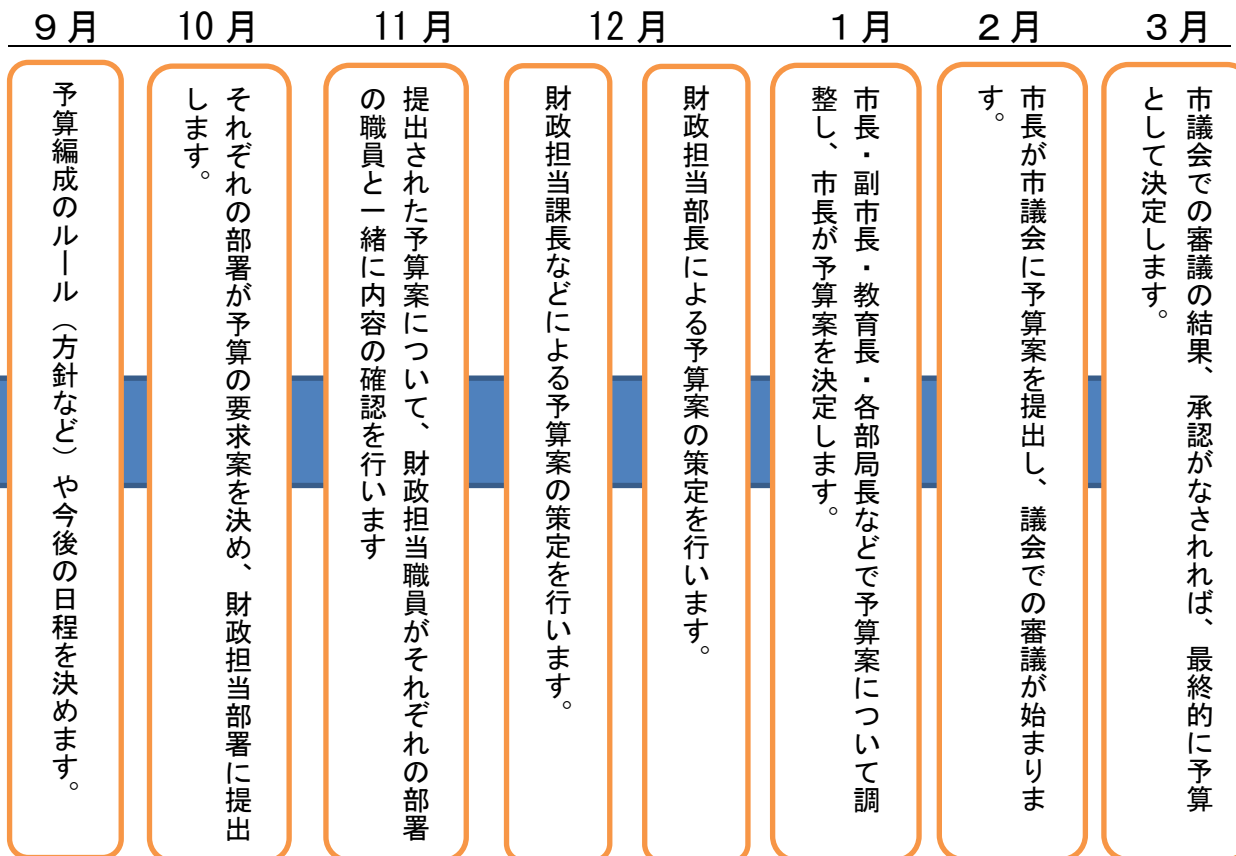
まず市長をはじめとした市役所職員みんなで、市民の皆さんの意見を考慮しつつ、計算や議論をしてどれだけのお金が入ってくるのかと使い道の案（予算案）を考えます。

そして、その編成した案を鎌ヶ谷市議会に提出して、皆さん市民の代表である市議会議員の方々と更に慎重に話し合っ
て、最終的には市議会で予算として決定されます。

実際に来年度の予算をつくる流れを見てみましょう。



■ 令和5年度の予算編成スケジュール（予定）



大きな買い物をするときの家族会議のようなイメージですね。
なお、不測の事態になり決まった予算ではお金が不足するようなときは、「補正予算」をほぼ同様の流れで編成していきます。基本的には市議会で6月・9月・12月・3月に補正予算があれば審議しています。

12 時 限 目



令和3年度は、主に次のようなことに市の予算（お金）を使いました。みなさんに身近な学校や公園、さらには新型コロナ対策を中心に取ります。

<p>義務教育施設維持補修事業 13億3,179万円</p> <p>小中学校トイレ改修、鎌ヶ谷小学校体育館改修、防火戸・防火シャッター改修、北部小学校と道野辺小学校の受変電設備改修などを実施しました。</p>	
<p>街区公園整備事業 3億1,143万円</p> <p>（仮称）鎌ヶ谷一丁目ふれあいの森公園及び（仮称）丸山三丁目ふれあいの森公園の用地購入を実施しました。</p>	
<p>陸上競技場改修事業 1億907万円</p> <p>陸上競技場メインスタンド外壁塗装、防水改修、トイレの洋式化、空調設備の改修を実施しました。</p>	
<p>多子世帯の学校給食費の減免 885万円</p> <p>新たな子育て世代への支援として、児童・生徒を3人以上養育している世帯について、第3子以降の給食費を半額免除しました。</p>	
<p>【新型コロナウイルス感染症対策】</p> <p>新型コロナウイルスワクチン接種 12億8,443万円</p> <p>ワクチン接種体制を構築するとともに、順次接種券を発送し、接種を実施しました。</p>	
<p>【新型コロナウイルス感染症対策】</p> <p>中小企業資金融資等に要する経費（経営支援給付金） 6,575万円</p> <p>売上が落ち込んだ市内事業者等に対し、経営支援給付金を支給しました。</p>	

これからのお金のやりくりはどうなることを想定していますか？



鎌ヶ谷市では、「当初予算を作ったあと」、「決算が固まったあと」の年2回、今後6年間の財政推計をしています。

この財政推計を「中期財政見通し」と呼んで、市のホームページに掲載しています。

令和3年度決算を踏まえて推計した今後の見通しは下の表のとおりです。



<中期財政見通し（抜粋）>

（単位：億円）

区分	R5 推計	R6 推計	R7 推計	R8 推計	R9 推計	R10 推計
歳入	373.6	372.8	370.6	374.5	374.9	375.4
歳出	373.6	372.8	374.2	381.6	384.9	388.5
収支差	0.0	0.0	▲3.6	▲7.1	▲10.0	▲13.1



今回の見通しでは、これまで蓄えてきた基金（貯金）を活用することで令和6年度までは財源不足を生じさせないでお金のやりくりができる状況にあります。

しかし、各年度の予算編成で歳入の確保や歳出の削減の取り組みを行わない場合、令和7年度以降は、財源不足が生じることを見込んでいます。

この対応として、各年度の決算状況などにより、必要に応じて計画の見直しを行うなど、毎年度の予算編成の中で対応していきます。



いろいろと説明してもらいましたが、鎌ヶ谷市の財政状況は大丈夫なのですか？

鎌ヶ谷市は、過去に一度も赤字になったことはありません。
今回お伝えした令和3年度決算では、過去最高額となる約28億円の黒字(※1)となっています。

また、国は地方公共団体の財政状況を統一的な指標(※2)で明らかにするため、法律により注意しなければならない基準(※3)を設けています。

現在の鎌ヶ谷市はこの基準をクリアしています。

ただし、少子高齢化の進展により福祉にかかる経費(扶助費や繰出金)が増加しているほか、借金の返済など、義務的なお金も増加しています(※4)。このため、行財政改革を進め、毎年度の予算編成の中で一層の歳入確保・歳出削減を行っていきます。さらに、国の地方に対する財政政策を注視し、市民サービスの向上に配慮しつつ、今後とも堅実で持続可能な財政運営に取り組んでいきます。



※1 国が定める全国統一の計算方法で「実質収支」のことをいいます。

「実質収支」とは、2時限目で出てきた歳入と歳出の差額(形式収支)から、令和3年度に完了できず、令和4年度へ繰り越した工事などのための繰越金を差し引いた額のことです。

※2 国は市町村が借金をし過ぎないように、実質公債費比率(標準財政規模に対する借金の返済額の大きさを示す指標)と将来負担比率(標準財政規模に対する債務残高の大きさを示す指標)を設けています。

※3 早期健全化基準(いわゆるイエローカード)のことをいい、この基準を上回らないことで財政状況が健全であるといえます。

《参考》

令和3年度決算における実質公債費比率 4.7%(早期健全化基準 25.0%)

将来負担比率 36.8%(早期健全化基準 350.0%)

※4 経常収支比率(市税など決まった収入が、必ず支払わなければならない経費にどれくらい使われているかを示す指数)は、90%を超えています(令和3年度決算では、国基準で92.4%)。この比率が低ければ低いほど財政に余裕があり、自由に使えるお金が多いことを表します。逆に100%に近づくと余裕が無くなっていきます。いかに歳入を増やし、支払わなければならない経費を少なくするかが今後の課題です。